

【六本木三丁目東地区まちづくり協議会，まちづくり研究会 第一回：将来の街に必要な外部空間を考える】

■日時：2018年10月14日（日）14:30～16:30

■場所：港区麻生総合支所「区民協働スペース」

■参加者（22名）：六本木三丁目東地区まちづくり協議会研究会連（港区まちづくりコンサルタント）
 学生（早稲田大学、首都大学東京）

■趣旨：街には、皆が集まる広場が必要です。平常時における癒しの場、イベントの場、盆踊り、お祭り、遊具公園、散策路、池、緊急時の炊き出しや支援物資の場としても広場、公園、庭園は大切です。最近では運動器具付の公園なども話題になっています。広場の周りに必要な施設、設備（店舗、倉庫、自販機、トイレ、防犯カメラ等）を、皆で考えましょう！

■スケジュール
 14:30～挨拶（水橋会長）、司会進行（植木）
 14:35～ワークショップの説明、事例紹介（連）
 15:00～グループで検討し、まとめる。
 15:50～発表、コメント（小川+連）
 16:15～まとめ（連）、
 16:25～挨拶、今後について（植木）

外部空間事例



木陰とベンチ



大階段・エレベーター



触れられる水、池



庭園・散策路



屋根付き広場



遊び場・ベンチ



運動、健康器具



オープンカフェ

A班



- ①自然系：四季を感じる植栽、緑の多い広場
鳥が立ち寄れる小さな森、散策路、池
屋上庭園、歴史の継承（坂、路地）
- ②ベンチ：憩いの場、弱者の居場所（高齢者、障害者）、景色に馴染むデザイン
- ③オープンカフェ：住民が集まれる場
- ④屋根のある広場、ピロティー、囲まれた広場
- ⑤移動系：エレベーター、エスカレーター、大階段、スロープ
- ⑥その他：東屋、交番、防災倉庫、自販機、トイレ、災害時のトイレ

B班



- ①屋根のある広場・ピロティー：多目的広場
イベントスペース、屋外で映画、
- ②オープンカフェ：屋根付広場に隣接
※誰でも利用できるのが良いのか？
- ③運動・健康・ゲーム系：健康器具、ボールを使ったゲーム、ランニングコース→防犯上も良い
- ④自然系：庭、庭園、神社、池、井戸
- ⑤災害時：マンホール化、かまどベンチ、屋根付広場はフェーズフリー
- ⑥意見：お昼に弁当、ここから出たくない。

C班



- ①防災・移動：災害時のトイレ、トイレ→広場
かまどベンチ、屋外エスカレーター、防災井戸
- ②自然系：四季を感じる広場、木陰+ベンチ
花、桜
- ③広場・施設：平らなイベントスペース、
屋根付き、噴水、オープンカフェ
- ④アットホーム：個人店（面白い、特徴がある、
近所との繋がりができる。店舗が見える所に
配置する。→にぎやかさ。
※ビオトープは蚊が出る。→水が動いていればOK。



■外部空間の事例説明

平常時も災害時にも役に立つ
フェーズフリーの考え方が大切！

※トリアージ：緊急時、けがやダメージの状況に応じて治療順などを判断すること



■グループで検討

フリーディスカッション→
付箋に記入→まとめる。



■グループの発表

質疑とディスカッション

■まとめ（将来に必要な外部空間）

- ①自然系：水、緑、庭園、花、桜、風、遊歩道
池、井戸、木陰
- ②広場系：ベンチ、人が集まれる広さ、平らである。
屋根付き、ピロティー、イベントができる。
- ③施設・設備系：オープンカフェ、自販機、ゴミ箱
トイレ、運動健康器具、個人店、茶室
ランニングコース、ゲーム
- ④移動系：エレベーター、エスカレーター、雨にかからない
大階段をうまく使う、自動移動手段
- ⑤防災の視点：防災倉庫、マンホールトイレ、かまどベンチ、交番、防犯カメラ
- ⑥歴史の視点：坂道

→①～⑥をうまく組み合わせる！

